

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【公表番号】特表2011-508065(P2011-508065A)

【公表日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2010-540852(P2010-540852)

【国際特許分類】

C 0 8 J 9/36 (2006.01)

B 0 1 D 67/00 (2006.01)

B 0 1 D 69/10 (2006.01)

B 0 1 D 69/12 (2006.01)

B 0 1 D 71/34 (2006.01)

B 0 1 D 71/56 (2006.01)

B 0 1 D 71/38 (2006.01)

B 0 1 D 71/40 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 9/36 C F G

B 0 1 D 67/00 5 0 0

B 0 1 D 69/10

B 0 1 D 69/12

B 0 1 D 71/34

B 0 1 D 71/56

B 0 1 D 71/38

B 0 1 D 71/40

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 4】

いくつかの実施形態では、機能化された膜は物理的に非対称であることができる。いくつかの有用な非対称微多孔性膜は、それぞれ参照により本明細書に組み込まれている、米国特許第6,413,070号、同第6,513,666号、及び同第6,264,044号(Meyering et al.)で開示されている。例えば、グラフトされた種が1つの主表面において又は多孔質基材の厚さの少なくとも一部にわたってゲルを形成するように、第1の主表面における多孔率又は有効孔径を、第2の主表面における多孔率又は有効孔径と異ならせることができる。このような実施形態では、グラフトされた種の勾配は、一方の主表面上の細孔を少なくとも部分的に閉塞することと、機能化された膜の第2の主表面まで孔径を増加させることに寄与し得る。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

機能化された膜を作製する方法において、前記方法が  
第 1 の主表面、間隙の表面、及び第 2 の主表面を有する多孔質基材を提供すること、  
前記多孔質基材に少なくとも 1 つのグラフト可能な種を適用して、被覆された多孔質基  
材を提供すること、並びに

前記被覆された多孔質基材を電子ビーム照射により処理して、機能化された膜を提供す  
ること、を含み、前記電子ビーム照射が、グラフトされた種の濃度が前記第 2 の主表面に  
おける濃度よりも前記第 1 の主表面において高い勾配で、前記多孔質基材にグラフト可  
能な種を結合させる、機能化された膜を作製する方法。

## 【請求項 2】

前記少なくとも 1 つのグラフト可能な種がフリーラジカル重合性基を含む、請求項 1 に  
記載の方法。

## 【請求項 3】

前記少なくとも 1 つのグラフト可能な種が前記フリーラジカル重合性基と、エチレン系  
不飽和基、エポキシ基、アザラクトン基、イオン基、アルキレンオキシド基、及び前出の  
ものの 2 つ以上の組み合わせからなる群から選択される、追加の官能基と、を含む、請求  
項 2 に記載の方法。

## 【請求項 4】

前記少なくとも 1 つのグラフト可能な種が少なくとも 2 個の官能基を含む、請求項 1 に  
記載の方法。

## 【請求項 5】

前記少なくとも 1 つのグラフト可能な種が、ポリアルキレングリコールジ(メタ)アク  
リレート、グリシジル(メタ)アクリレート、イソシアナトアルキル(メタ)アクリレ  
ート、ビニルアザラクトン、及び前出のものの 2 つ以上の組み合わせから選択される、請求  
項 1 に記載の方法。

## 【請求項 6】

前記被覆された多孔質基材に送達される電子ビーム照射の線量が、1 0 k G y 以上 2 0  
0 k G y 以下の範囲内にある、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 7】

前記電子ビーム照射が、1 2 0 k e V 以上 2 5 0 k e V 以下の範囲内の電圧で操作され  
る、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 8】

前記機能化された膜に少なくとも 1 つの追加のグラフト可能な種を適用し、その後、前  
記機能化された膜を電子ビーム照射の第 2 の処理により処理して、前記機能化された膜に  
前記追加のグラフト可能な種を結合することを更に含み、前記機能化された膜が少なくと  
も 1 つの追加のグラフトされた種を有する、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 9】

第 1 の主表面、間隙表面、及び第 2 の主表面を有する非対称多孔質基材と、  
グラフトされた種の濃度が前記第 2 の主表面における濃度よりも前記第 1 の主表面にお  
いて高い、前記第 1 の主表面から前記第 2 の主表面へと前記非対称多孔質基材を通して延  
びる勾配で、前記非対称多孔質基材に結合したグラフトされた種と、を含む、機能化され  
た膜。